

公益財団法人ソニー音楽財団

## 平成 24 年度 事業報告書

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

### I. 方針

当財団の平成 24 年度事業は、過去 27 年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層、社会的評価を高めるべく努力しました。

## II. 事業

### 公益目的事業 1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

#### (1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

#### 【日程及び会場】2012年～2013年

4月22日(日)	[宮城県]	多賀城市民会館 大ホール
4月30日(月・振休)	[東京都]	ホテルニューオータニ
5月12日(土)	[東京都]	なかのZERO 大ホール
6月23日(土)	[神奈川県]	青葉台 フィリアホール
7月11日(水)	[東京都]	旧東京音楽学校奏楽堂
11月11日(日)	[北海道]	北見芸術文化ホール きた・アート21
12月8日(土)	[東京都]	HAKUJU HALL (2回公演)
2月11日(月・祝)	[富山県]	黒部市国際文化センター
3月3日(日)	[広島県]	尾道市しまなみ交流館 (初)
3月23日(土)	[宮城県]	電力ホール (初)

(以上、全11公演)

#### (2) 「0才まえのコンサート®—ママのおなかには特等席—」の開催

妊娠している母親が、コンサートにより得られる感動や喜びは、お腹の赤ちゃんにもよい影響を与え得る、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに160回以上、全国30カ所以上で開催しています。

出演者は、実力派の演奏家と楽曲で企画、また、メディカル・アドバイザー（前日本医科大学産婦人科教授）の越野立夫氏による、妊娠や出産にまつわる講話のコーナーも好評です。

妊娠をきっかけにクラシック音楽に触れてみようというクラシック初心者の方々もリラックスしてコンサートを楽しめるよう、曲は耳馴染みのある優しい小品を中心に構成され、出演者による出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、トークも交えながら進行します。カップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催しており、来場者の大半がお腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

【日程及び会場】 2012年～2013年

6月23日（土） [神奈川県] 青葉台 フィリアホール

3月3日（日） [東京都] HAKUJU HALL

(以上、全2公演)

(3) 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ～vol.9

2004年より始まった Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズの9年目となる公演です。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテットなど、世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。今年度は、ロンドン・オリンピックの開会・閉会式でも演奏した世界のトップ・オーケストラ、ロンドン交響楽団の教育プログラムによる一夜限りのスペシャル・コンサートを開催。注目の指揮者ダーヴィト・アフカムが、クラシックの名曲の数々や映画「ハリー・ポッター」の音楽を、スクリーンに映し出される映像とお話し付きの「魔法の冒険（マジカル・アドベンチャー）」としてお届けしました。

【日程及び会場】

2013年3月8日（金） [東京都] サントリーホール 大ホール

(4) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティー・コンサート」の開催

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、1990年よりスタートし、20年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充て

られます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は東京と大阪にて開催しました。

#### 【第46回】東京公演

ニューイヤー・コンサート

2013年1月12日(土) 午後2時開演

会場：[東京都] サントリーホール 大ホール

出演：森麻季（ソプラノ）中鉢聡（テノール）高関健（指揮）東京都交響楽団

主催：Sony Music Foundation

共催：東京都交響楽団

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/  
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

#### 【第47回】大阪公演

2013年1月24日(木) 午後7時開演

会場：[大阪府] いずみホール

出演：樫本大進（ヴァイオリン） コンスタンチン・リフシツ（ピアノ）

主催：Sony Music Foundation/いずみホール

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/  
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

### (5) “Great Artist Series” の開催

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。当年度は「国際オーボエコンクール・軽井沢」の第10回という記念すべき年度にあたり、コンクール直前の9月末に「記念ガラ・コンサート」を名古屋と東京で開催しました。ここには過去の上位入賞者を国内外から招聘し、審査委員たちとともにオーケストラと協奏曲を共演したほか、オーボエ・レパトリーの究極の室内楽作品を演奏しました。同時にホール・ロビーでは主要オーボエ楽器メーカーの協賛による楽器の展示・試奏体験コーナーの設置とプロのオーボエ奏者による楽器の聴き比

ベコナーを設け、「オーボエの祭典」に相応しい一大イベントになりました。コンクール最終日には第10回のコンクール上位入賞者も加えたコンサートも開催しました。またオーボエの更なる普及・発展を目指し、オーボエにまつわることが多角的にわかるよう読み物などを含む「オフィシャル・ガイドブック」をコンクールと共通で制作し、コンサートとコンクール会場、音楽学校、楽器店などで無料配布しました。

#### 【日程及び会場】

第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢 記念ガラ・コンサート

2012年9月27日（木） [愛知県] 名古屋 三井住友海上しらかわホール

2012年9月28日（金） [東京都] 東京文化会館 小ホール

第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢 上位入賞者&審査委員コンサート

2012年10月8日（月・祝） [長野県] 軽井沢大賀ホール

#### （6）東日本大震災復興支援チャリティ・コンサート

2011年度から東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開始した「第九チャリティ・コンサート」は、年末の音楽風物詩ともなっているベートーヴェンの第九交響曲の演奏会のチケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的とし、中期的に継続します。今年度も2011年度と同じ東京オペラシティ コンサートホールを会場とし、第5回（2005年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞の受賞者である大植英次（指揮）と東京フィルハーモニー交響楽団等による演奏（マエストロのプレトーク付き）でお届けしました。

#### 【日程及び会場】

2012年12月24日（月・振休） [東京都] 東京オペラシティ コンサートホール

#### （7）Dream Seats

Dream Seats は、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等の定期公演や名曲コンサートを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。オーケストラ公演に加えて、オペラの公演や、東京春音楽祭のメインプログラム

の公開リハーサルなど条件に合った公演・プログラムを案内しています。今年度からは、前年度に比べ公演をより厳選し1公演あたりのチケット提供数を倍増させました。今年度は全21公演をご案内しました。

また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため、「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。

## (8) セミナーの開催

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催しました。若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学ぶ機会を与えることを目的とします。

### 【日程及び会場】

2012年9月15日(土) [東京都] 東京文化会館 小ホール

世界的クラリネットのソリスト リチャード・ストルツマン 公開マスタークラス  
東京文化発信プロジェクト Music Weeks in TOKYO 2012 実行委員会主催、当財団協力

## 公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

### (1) 「第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、2012年に記念すべき第10回を迎え、9月末～10月に軽井沢大賀ホールで開催しました。2011年には国際音楽コンクール世界連盟(本部: スイス・ジュネーヴ)にも加盟しました。

今回27の国と地域から過去最高の160名の応募があり、予備審査(非公開)を経て、51名が第1次予選に臨みました。その内18名が第2次予選に進み、5名が本選に残るといふ、内容的にもハイレベルなコンクールとなりました。結果、1991年の第3回以来21年ぶりに3位以上の上位に日本人2名が入賞する画期的なものとなりました。なお、今回からコンクール第1次予選から本選までをストリーミング形式でインターネット配信し、世界各地からコンクールの模様を見ることができるようになりました。これらは2013年3月末までアーカイブとしてホームペー

ジより閲覧できます。

#### 【日程】

申込期間： 2012年2月1日（水）～4月2日（月）

録音音源による予備審査（非公開）： 2012年4月20日（金）・21日（土）・  
22日（日）

出場者登録： 2012年9月27日（木）

第1次予選： 2012年9月30日（日）・10月1日（月）

◇第1次予選通過者発表： 10月1日（月）

第2次予選： 2012年10月3日（水）・4日（木）・5日（金）

◇第2次予選通過者発表： 10月5日（金）

本選及び表彰式： 2012年10月7日（日）

上位入賞者&審査委員コンサート： 2012年10月8日（月・祝）

#### 【会場】

[長野県] 軽井沢大賀ホール

(9月30日第1次予選～10月8日上位入賞者&審査委員コンサートまで)

#### 【結果】

第1位 [大賀賞]：オリヴィエ・スタンキエーヴィチ（フランス/スウェーデン）

第2位：金子亜未（日本）

第3位：近藤那々子（日本）

入賞：イェチャン・チョン（韓国）、ミハイル・ジュラヴリョフ（ロシア）

奨励賞/軽井沢町長賞（聴衆賞）：金子亜未（日本）

#### (2) 第11回 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度（平成14年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第3条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団前理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、故大賀前理事長が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度（平成14年度）から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員3名に加わっていただき、選考を行いました。4月23日に選考委員長である大賀典雄前理事長が永眠したため選考委員長が不在となりましたが後任は置かず、選考委員全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定することとなりました。

#### 【今年度の受賞者】

指揮部門：山田 和樹 氏

チェロ部門：石坂団十郎 氏

当賞の内容は以下の通りです。

#### 1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

#### 2. 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

#### 3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

#### 4. 選考委員の選定

（永久選考委員）

永久選考委員は下記の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏（指揮者）  
堤 剛 氏（チェリスト）

（任期制選考委員）

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を 3 名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は 3 年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

## 5. 賞

- ・楯
- ・賞金 当該年毎に 1 人 500 万円（総額 1,000 万円）

## 6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

## 7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

## 8. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

### （3）「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002 年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1 名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は実施しませんでした。

### （4）「国際オーボエコンクール」奨励賞受賞者及び日本人入賞者に対する支援

1985 年より 3 年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。本選

に出場した者の中で日本国籍を持つ出場者に与えられる「奨励賞」、その受賞者と本選出場を果たした日本人演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は実施しませんでした。

(以上)